

祝 100 歳 おめでとうございます

[お名前のみのご紹介]

大橋 ヨシエさん (尾中)

川村 てるゑさん (市場)

「清水地区を魅力的にするプロジェクト」発表会

1月20日(金)に清水文化センターで、八幡中学校3年生による「清水地区を魅力的にするプロジェクト」の発表会が開催されました。この発表会では3年生の生徒が、総合的な学習の時間で学んできた「まちづくりについての学習」の集大成として、清水地域を魅力的にするための提案を発表しました。この日までに、総合的な学習の時間、修学旅行先の鳥羽市での勉強会、有田川町役場の担当者の出前授業、和歌山大学経済学部の足立先生とゼミ生の皆さまとの共同学習を通じて、1年間学びを深めてきました。

生徒たちは「子供の住みやすいまちづくり」「地場産業と観光で清水をにぎやかに」「観光だけじゃない! [清水の魅力]」の3つのテーマについて、それぞれのグループが自分たちで作成した資料をもとに、清水地域の課題やその解決策を具体的に提案するプレゼンを行いました。

この発表会はプレゼンを聞きながら、生徒は自分のタブレットから、出席者は自分のスマートフォンからプレゼンに対する感想を投稿できるスタイルで進められました。会場のモニターには投稿された感想がオンラインで映し出され活発な意見交流の場となりました。会場に集まった保護者を含め地域の皆さまの前で発表したことは、3年生にとって大きな自信となりました。

3年生の作文より

15年間清水で暮らしてきて「不便な場所」「早く出ていきたい」と思っていたけれど、今回の地域学習で魅力をたくさん見つけることができた。一概に自然が魅力といっても整備されていなければ景観が乱れること、情報発信能力の欠落など課題がたくさんあってどうすれば良いかたくさん悩んだ。そんな中で大学生との交流があって、自分たちのイメージの引き出しをたくさん聞いてもらうことができた。プレゼンの仕方についてアドバイスをもらったり、自分たちだけでは気付くことができなかった課題や解決策を一緒に考えてもらったり応援してもらったりと、今回のプレゼンは大学生との交流なしではできなかったと思う。教えてもらったことを大切に今後頑張っていきたい。

大学生との交流後、一緒にプレゼンの準備をしてきた3人の仲間と一緒に壇上で発表できて楽しかった。聞いてくれた人の温かい感想もスクリーンで見ることができてよかった。これからも清水の発展についてしっかり向き合っていきたい。

